



新調した自治会旗の下で



輪になって指導・訓練



三角巾手当て訓練



負傷者の搬送訓練



豚汁の調理

3月11日(日)第12回南越谷地区総合防災訓練が、コミュニティ推進協議会、南越谷自治会連合会主催で実施されました。あいにくの雨のため会場を体育館に移し、26全自治会、385名と制限された参加となりました。

開会式の後、防災の啓発として「阪神・淡路大震災」の記録映画が30分ほど上映されました。

特に都会に於いての地震災害の悲惨さが映し出され、家屋の倒壊、器物の損壊で交通渋滞を招き、初期対策の遅れ等を知ることができました。消火救援、救援物資の輸送を迅速に行う為にも、住民の協力による交通対策が、最重要課題であることも再認識しました。

訓練に入り、内容も応急救護・搬送訓練の

二つに絞り込み、参加者が身をもって体験する三角巾手当てでは、皆さんがそれぞれ相手を探し、真剣に蒲生分署の消防士から指導を受けていました。

防災訓練と並行して、コミ協会員と各自治会の協力者による、炊き出し訓練も行われました。若干、若い男性も女性に混じり、手分けして、豚汁とアルファ米を調理していました。

訓練の総評として、越谷市消防本部藤沼消防長より訓練の評価と最近の災害状況について説明がありました。また、コミュニティ推進協議会 饗庭会長、南越谷自治会連合会 飯島会長から、家庭においても訓練の大切なこと、関東大震災後、80年ほど過ぎており、地

殻変動も考え合わせると、周期的には大地震が起こりうる時期に入っているとの警鐘も聞こえ、訓練を繰り返して災害に備えておく事が、いざという時に役立つ等話がありました。

終了後、参加者全員に炊き出し訓練の豚汁とアルファ米が配布され、また自治会毎に越谷・松伏水道企業団が災害備蓄用に製造した飲料水「越松深水」の入ったペットボトルが1ケース支給されました。

雨の中、また寒い体育館にもかかわらず最後まで参加され、有意義な訓練となりました。

### 南越谷地区総合防災訓練が実施されました

### 「ハレの日」の門出をお祝いで

平成19年1月7日(日)富士中学校体育館に於いて、平成18年度の成人式が盛大に開催されました。本年度の地区の新成人は338人です。成人式は南越谷地区成人式実行委員会を中心に企画され、当日は前日の雨が嘘のように晴れ渡り「ハレの日」にふさわしく美しく着飾った女性たちが一際目を引きました。

式典では、新成人の内藤未来さんが「夢と希望を持って生きて行ける平和な世の中になるよう、私たちの手で変えていきたい」と力強い誓いの言葉がありました。

式典後、会場では恩師を招いての懇談会や抽選会もあり、久々の再会に笑顔で話が弾んでいました。



#### 大会成績

|     | 団体の部      |         |
|-----|-----------|---------|
|     | 高学年       | 低学年     |
| 優勝  | 赤山5B      | 杉の子A    |
| 準優勝 | 杉の子C      | 杉の子B    |
| 三位  | 赤山3E、杉の子D | 茜町D、郵政B |

|     | 個人の部              |                   |
|-----|-------------------|-------------------|
|     | 高学年               | 低学年               |
| 優勝  | 村上南帆(茜町)          | 赤城彩香(773)         |
| 準優勝 | 大江友乃(杉の子)         | 左裕子(郵政)           |
| 三位  | 岡田聡司(郵政)、岩品未来(茜町) | 太田百香(赤山5)、林湧喜(茜町) |

平成18年12月23日(土)南越谷小学校体育館において「第22回さいたま郷土かるた南越谷地区大会」が開催されました。各チームも会より団体42チーム個人31人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

今大会より「21世紀かるた」となり、絵札も読み札も従来のものから変わりましたが、子ども達の記憶力は素晴らしく、相変わらずの迫力ある試合ぶりに、思わず拍手を送りたい思いになりました。また、ジュニアリーダーも読み手として参加し、さわやかな活躍により、一層会場が盛り上がりました。

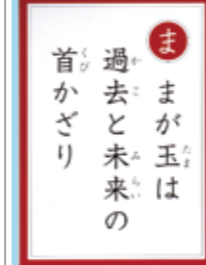
多くの方々の応援ありがとうございました。なお、高学年の入賞者が出場した中央大会でも赤山5B・杉の子Cが立派な成績をおさめ、埼葛南支部大会へ進みました。さらに赤山5Bは、県大会へも出場します。

### さいたま郷土かるた南越谷地区大会



広報・文化部会に入っていただき今年度がんばつてきました。コミ協全体の動きが少しは分かってくる、みなさんの活動や願いがうまく伝わっているのか心配です。ご意見をお寄せいただければうれしいです。

ひとつの記事を仕上げていくのは、確かに大変なことです。完成させたときの喜びがあります。住んでるこの地域は、一人一人の力でつくり上げていくものなんだなあと考えています。(C・A)



#### 編集後記

平成19年3月17日(土)南越谷地区コミ協環境衛生部会では、富士中の生徒・保護者と一緒に関越谷駅周辺の清掃と花の配布をしました。

通行人は突然のプレゼントに戸惑いながらも笑顔で受け取っていました。

### 花いっぱい運動



## 瓦曽根三丁目自治会

瓦曽根三丁目自治会防災部では、地震、その他の災害が発生したことを想定し、避難訓練、防災倉庫の備蓄品整備、普通救命講習会などの事業を行っています。

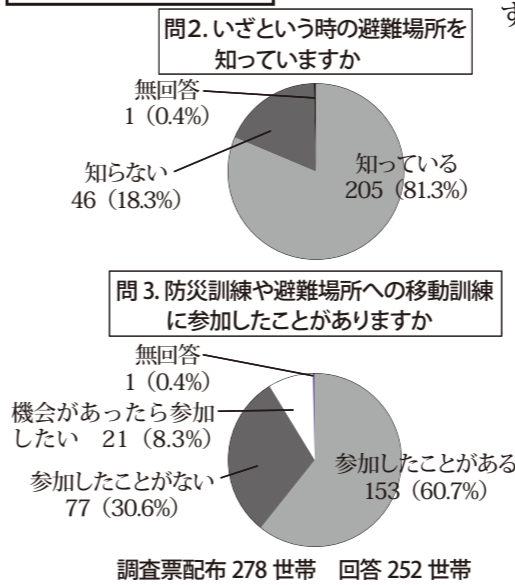
今年度実施した防災の見直しは、平成10年に作成した緊急連絡カード「我が家の防災メモ」について行いました。家族が勤務先等にどうしても連絡できない場合、家族に代わって連絡をするために作成されたものです。記載内容の変更があるので定期的な見直しをしています。防災部員が各家庭を訪問して回収する方法で行い、今回は二回目の実施となりました。

また「防災アンケート」調査も行い、全世帯の91%というすばらしい回答率で、自治会の皆様が自主防災意識に対して、非常に高い関心を持っていただいていることが伺えました。この調査結果を参考に防災事業を更に推進していきたいと思っております。

## － 防災 － 自治会の取り組み

今回は3自治会より防災の取り組みについて、自治会の防災責任者から寄稿いただきました。

### 防災アンケートの一部



## 「第7回まちづくりシンポジウム」事例発表

第7回まちづくりシンポジウムが平成19年2月24日(土) 越谷市中央市民会館において行われました。このシンポジウムは、各地区コミ協が18年度中にどのような活動をしてきたかを発表するもので、今回は9地区の参加となりました。



参加された当コミ協の皆さん

日頃、他の地区コミ協の活動を知らない中『人と緑が輝く川柳環境美化運動』や『桜井地区のバリアフリー調査報告』など、各地区の創意工夫された発表はとても参考になりました。今後のコミ協活動のヒントになる事柄がありました。南越谷地区コミ協では、第8回南越谷地区フェスティバルを取り上げ、世代間・住民間の交流ができたこと、コミ協会員の結束が深まったこと、また企画拡大に伴い協力委員や自治会参加が増え、「地区のお祭り」として発展してきたこと等をコミ協白井副会長が解りやすく発表されました。

## ファミリータウン自治会

平成7年1月の「阪神淡路大震災」を教訓に、ファミリータウンでは地震から1年後の平成8年6月に自衛団が発足いたしました。自衛団は各階で4〜5軒を一つのブロックとし、全体で約180名からなる組織を構成しております。

自衛団では毎年、2回の防災訓練(その内の1回は地区防災訓練に連動)を始め、夏・冬の構内夜間パトロールを実施しております。防災訓練は、二段階に分け、「震度六強の大地震発生」の想定で、各家庭の身の安全を確認の後、前記のブロック団員が自分の担当のお宅を訪問し、怪我の有無を確認して廻る安否確認訓練から開始し、その状況を地震対策本部に報告し、怪我で動けない住民を救助する負傷者搬送訓練へ移行します。次に地震で火災が発生したとの想定で、火元のお宅で報知器をならし、それをいち早く見つけて消火器を持って駆けつけるという初期消火訓練を行います。けが人救出、初期消火活動が一段落したのち、全員を広場に集め、全体訓練へと移ります。



はしご車による屋上避難訓練

ファミリータウンに入居が始まって今年で26年目に入ります。幸いにもまだ大地震や火災の被害には遭遇しておりませんが、大地震がいつ来てもおかしくない時期に来ておりますので、非常時には日頃の訓練を生かせるようにしたいと思っております。

## 南越谷四・五丁目自治会

私たちの自治会は、平成12年に防災部を発足してから、本格的な防災についての取り組みを進めて参りました。防災部は、本部長(会長)・副本部長(副会長2名)・防災部長(1名)・防災委員(4名)・防災補助委員(全37班、副班長)により構成され、年に1回の衛生・防災委員会を開催し、防災についての啓発を行っています。また、防災部長・防災委員により自治会防災倉庫に備えた防災機器の点検・整備を年4回行い、不時の際に備えています。

地区防災訓練に於いては前半の訓練として、これら自治会防災倉庫に備えた防災機器の紹介と取り扱い訓練も合わせて行っています。



防災機器の説明

また、自治会独自に炊き出し訓練として役員・会員の協力にて実施している「カレーライス」の調理も恒例となっております。今年も雨天にも係らず60余名の参加があり、自治会内の訓練後、10数名の方を南越谷地区防災訓練に参加させて頂きました。また、参加者全員に朝早くから雨の中、屋外炊事で用意したカレーライスを食べて頂き解散となりました。

## 55歳からのパソコン講座開催

平成19年3月6日(火)〜8日(木) 南越谷地区センターにて、「55歳からのパソコン講座」が南越谷地区コミュニティ推進協議会主催、福祉部会の担当で開催されました。

受講者は基礎コース19名、応用コース16名、講師としてNPO法人越谷市生涯学習民間ネットワーク協会の担当されました。

講師がパソコンを操作し、それをスクリーンに写し出して説明すると、受講者は自分のパソコンで同じ操作をして、キーボード操作や課題の作品にチャレンジしていました。

皆さん非常に熱心で質問も多く、講師が忙しく対応され、休憩時間になっても席を立たずに頑張る人もいました。



出来上がった作品



## 「安全で安心して暮らせる住みよきまちづくり」を目指して

マスコミには連日暗い犯罪のニュースが報道されております。生命・財産は自らの手で守らなくてはなりません。個人には限度があります。自らを守るとともに、他人を思いやるチョットした心配りや協力も大きな力となり、犯罪を防ぎ明るい地域社会が生まれるものと信じております。

ただ今、南越谷地区コミ協では18年度地区まちづくり推進計画事業として「まちの問題調査事業」に取り組んでおります。

そこで、南越谷地区の皆さんから、私たち住民でできる地区まちづくり、特に防犯に対しての考えや関わり方について率直なご意見を頂戴いたしたく、各自治会をはじめ、コミ協構成団体ほか、大勢の方々に協力をお願いし、アンケートを実施いたしました。



アンケート集計風景

依頼件数800件、回答数612件、回収率77%でした。現在、集計・分析中ですが「犯罪が起りにくい住みよい南越谷地区」に向けて、今後の参考にさせて頂きます。なお、結果につきましては、後日コミ協広報誌にてご報告いたします。最後に、協力いただきました皆様方に心より感謝申し上げます。